

## beat/active サービス

強固なセキュリティで、オフィスのネットワーク環境を守ります

### beat/active 3つのポイント



安心

迷惑メール、ウイルス、不正サイト、不正アクセスなどの脅威から、オフィスのネットワーク環境を守ります。



簡単

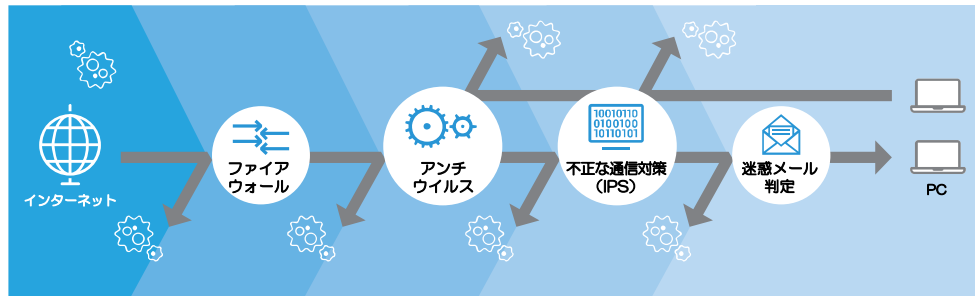
導入から運用管理まで、企業に必要なセキュリティ対策のアウトソーシングを実現。お客様の負担を軽減します。



便利

リモートワークの仕組みやクラウドへの接続など、お客様の環境をより良くする便利な機能をご用意しています。

### beat-boxの多層セキュリティ



### セキュリティレポートでセキュリティを見える化

beat-boxは常時、さまざまなログを取得しています。それを元にした各種レポートにより、お客様の「セキュリティの見える化」をサポートいたします。



セキュリティレポート画面



月次レポート画面

### 経済産業省とIPAの実証事業

「中小企業向けサイバーセキュリティ事後対応支援実証事業

(サイバーセキュリティお助け隊)」

へのご協力をお願い

富士ゼロックス株式会社



〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 Tel 03-6271-5111

<http://www.fujixerox.co.jp/>

Xerox, Xeroxロゴ、およびFuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。beat、beat/accessは、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。本ドキュメントに記載・表示された社名または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

本書の内容は2019年6月現在のものです。



# 中小企業向けサイバーセキュリティ事後対応支援実証事業 (サイバーセキュリティお助け隊)のご説明

経済産業省サイト：<https://www.meti.go.jp/press/2019/05/20190517002.html>  
IPAサイト：<https://www.ipa.go.jp/about/kobo/kobo20190326.html>

## 事業の背景

IoTやAIといった技術により企業間・産業間がデータを介してつながることで、新たな付加価値が生まれています。

一方、複数企業でネットワーク化されたサプライチェーンには攻撃の起点が広く拡散し、悪意のある者にとっては新たなサイバー攻撃の機会となっています。

セキュリティ対策を適切に実施していない企業1社がサイバー攻撃を受けるだけで、その影響はサプライチェーン全体に広がり、甚大な被害をおよぼします。そのため、大企業だけでなく、**サプライチェーンを構成する中小企業のサイバーセキュリティ対策の強化は、我が国の産業に対する世界の信頼に直結する重要な課題**となっています。

「情報セキュリティ10大脅威 2019」(組織)

順位	脅威の内容	昨年順位
1位	標的型攻撃による被害	1位
2位	ビジネスメール詐欺による被害	3位
3位	ランサムウェアによる被害	2位
4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃の高まり	NEW
5位	内部不正による情報漏えい	8位
6位	サービス妨害攻撃によるサービス停止	9位
7位	インターネットサービスからの個人情報の窃取	6位
8位	IoT機器の脆弱性の顕在化	7位
9位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	4位
10位	不注意による情報漏えい	12位

NEW : 初めてランクインした脅威

出典：「情報セキュリティ10大脅威 2019」(IPA)  
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2019.html>

## 事業の目的

多くの中小企業では、IT人材やセキュリティに関する知識の不足、意識の低さなどにより、サイバー攻撃に対する対策が十分実施されているとはいえません。こうした状況を踏まえ、経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) は、地域の団体・企業等と連携した中小企業のサイバーセキュリティ対策支援 (サイバーセキュリティお助け隊) を行い、それらの活動を通じて**サイバー攻撃の実態や対策のニーズを把握することで、中小企業が利用しやすい支援体制の構築を進めるための全国最大8地域での実証事業を行うことになりました。**

富士ゼロックスは、長野・群馬・栃木・茨城の4県において、その事業者として活動を実施します。



出典：「サイバーセキュリティ戦略・サイバーセキュリティ2018の概要」(内閣サイバーセキュリティセンター)

富士ゼロックスが貴社地域の事業推進を担当いたします



# 富士ゼロックスは本事業の事業者として採択されました！

「中小企業向けサイバーセキュリティ事後対応支援実証事業 (サイバーセキュリティお助け隊)」は、経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) による事業です。

## 富士ゼロックスの役割

富士ゼロックスは、長年の活動で培ったサイバーセキュリティの知見を活かし、以下のご支援を行います。

1. 富士ゼロックスのサイバーセキュリティサービスの無償設置  
→ ログデータの取得による、中小企業に対するサイバー攻撃の実態把握
2. 地域の団体や企業と連携した中小企業向けサイバーセキュリティセミナーの開催  
→ サイバーセキュリティに対する危機意識の啓発と認知向上
3. 上記を活かした中小企業に適した新たなサイバーセキュリティサービスの検討  
→ 低コストの新サービスによるサイバーセキュリティ対策の定着化

## お客様にご協力をお願いしたいこと

インターネット出入口のセキュリティサービス「beat/active」の設置とご利用

無償

- 設置時間：1時間程度 (設置作業中インターネットが停止します)

サイバー攻撃の実態分析を行うためのIPAへのログデータの提供※

※ログデータには御社を特定できる情報、企業秘密情報は含まれません

実施期間：約6か月 (2019/7 ~ 2020/1)

- 弊社セキュリティサービスを通じ、御社へのサイバー攻撃の実態、御社でのPCの利用状況などを把握頂くことができます

実証事業の終了後、サービス継続が可能です (有償)

※ 本件ご協力企業様に対し、IPAが実施する他事業・関連情報のご連絡をさせていただくことがあります。